

## スギ花粉症の最新治療・舌下免疫療法が2014年から開始されました

テレビ・マスコミでも話題となっているスギ花粉症の舌下免疫療法は、これまでにない画期的な最新の治療法で、湯田院長が2005年より保険適応を願って研究してきた最新治療です。

舌下免疫療法については当院ホームページも参照して下さい。Googleやyahooで「舌下免疫」で検索すると当院のホームページが最上位にきます。それほど、皆様にご覧いただいている内容です。

### 舌下免疫とは？

これまでの薬治療とは異なる新しい治療です。現在ある花粉症の薬は花粉症の時期に症状をおさえるだけで、花粉症の体質を変えることができません。舌下免疫療法は、花粉症体質を変えることを目指した新しい治療です。花粉症の時期にではなく、花粉症飛散の何ヶ月も前から行なう治療です。

舌下免疫が保険適応になる前から大学病院を中心に限られた医師が舌下免疫療法を研究してきました。湯田院長は三重大学在任中の2005年から舌下免疫療法を開始し、保険適応の礎を築いてきました。全国でも舌下免疫の発売前にこの治療を行なった医師はわずかですが、当院では年間100人程度の患者さんに行なってきました。その最新治療の舌下免疫が保険適応となり、全国で行なえるようになりました。当院では発売年の2014年に全国で最も多くの患者さんを治療しています。

### 舌下免疫はどうやっておこなうの？

スギ花粉から精製された薬を使います。約1mLの液状の薬を舌下(舌の裏面)にいれ、2分間待ってから飲み込みます。1日1回毎日自宅で行ないます。スギ花粉の飛散する3ヶ月以上前から治療を開始し、最低2年間、できれば4～5年間の継続治療が必要です。

新薬のため厚生労働省の規定で発売後約1年間の平成27年10月までは2週間に1回は必ず来院が必要です。患者さんの都合による2週間を越える長期投与はできません。その後も最低1カ月に1回の受診が必要です。

### この様な花粉症のかたに治療をお勧めします。

12歳以上で毎年スギ花粉症でお悩みのかた

特に、将来の妊娠出産時の薬服用が不安なかた

将来に受験を迎える時期にスギ花粉症が心配な12歳以上の学生

花粉症の薬による副作用などが気になっているかた

少しでも薬を減らしたいと思っているかた

### このようなかたには舌下免疫の適応がありません。

舌下免疫はスギ花粉症の治療です。ホコリやスギ花粉以外の鼻アレルギーに対する治療ではありません。喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎などにも効果がありません。

重症喘息・がんを治療中のかたには治療できません。近々妊娠を希望されるかたも行なえません。アトピー性皮膚炎や食物アレルギーの強いかたは行なえない場合もありますので、医師にご相談ください。高血圧でお薬を飲んでいるかたは、薬の種類により変更が必要ですので、治療時に相談します。

12歳からの保険適応となります。治療開始時に12歳以上でないと保険適応となります。

舌下免疫療法の他に、注射による皮下免疫療法があり、舌下免疫よりも若干よい効果があります。皮下免疫療法は何十年も前から保険適応になっています。当院では皮下免疫療法も行なっていますので、ご相談に応じます。皮下免疫と舌下免疫の違いは当院ホームページで確認できます。

**舌下免疫の治療は1月～5月には開始できません。花粉飛散期には適切な薬の治療を行ない、花粉飛散後から来年に向けて治療を開始します。**



**ゆたクリニック**

耳鼻いんこう科 頭頸部外科 アレルギー科

<http://yuta-clinic.jp/>

本紙はゆたクリニックで舌下免疫を考えている患者さんに治療前にお渡しする説明書です。  
ご参照される場合には使用者の責任下でお願いします。

## 舌下免疫を考える前に必ずご理解下さい

花粉症をよくしたいかたが根気よく行なう治療です。

平成27年10月までは2週間に1回の受診が必要です。その後は1ヶ月に1回になります。定期的に通院が可能なかたのみ行なえます。

1年中毎日自宅で治療します。花粉症の飲み薬のように花粉症の時期の症状の悪いときに行なう治療ではありません。スギ花粉飛散前も、飛散中も、飛散後も舌下免疫を継続します。

継続して治療できないかたは、効果がないばかりか、安全にできません。時々忘れる程度は大丈夫ですが、いい加減に行われると治療が中止されます。適切に治療すれば安全に行なえますが、使用方法を遵守しないと思わぬ副作用(副反応)があります。この薬はスギ花粉を精製した自然物ですので一般に使われている薬のような副作用はありません。しかし、体にスギ花粉をいれますので、この薬によりアレルギー症状が出る可能性があります。このような副作用を副反応と呼びます。これまでに致命的な副反応の報告はありませんが、誤った薬の使い方や治療計画を遵守しない使用法(適当に治療したりしなかったりするなど)による副反応の可能性があります。適切に治療すれば副反応があったとしても軽くて安全ですので、治療を開始するかたはできるだけ計画通りに治療を行なってください。薬を飲んだり飲まなかったりする、仕事などで忙しいから長い間薬を取りに来れないというようなかたには不向きな治療です。

治療はまず2年ほど行ないます。効果のあるかたはその後も継続して3~5年の長い年月の治療となります。ですので、とりあえずやってみるかと思われるかたにはこの治療は向きません。スギ花粉症をよくしたいと思われるかたが、根気よく行なう治療です。

舌下免疫すれば必ずスギ花粉症が完治するわけではありません。

これまでの経験から、約2割の人が花粉飛散期にほとんど症状がないかあっても軽微で数日間薬を飲めば大丈夫な完治となります。完治まではいかなくとも、半分程度のかたは非常によくなり、薬の使用量も減って症状も軽くなります。これらの効果は、これまでの薬の治療にはない画期的な効果です。約2割といえども完治に近い状態ですので、これまでの薬の治療には無い効果です。全体の8割程度で多少なりとも効果がありますが、残念ながら1~2割には効きません。長期間治療した結果で効かないことはこの治療の大きな問題点ですが、残念ながら治療前に舌下免疫が効くかたか効かないかたを見分ける方法や検査はありません。

数年以上治療して効果があれば、治療を終了してもその効果は長く続くと考えられます。また、その後に効果が減弱した場合でも、再度同じ治療を行なえば効果が戻ると考えられます。

現在花粉症に使われている薬を併用することは可能です。舌下免疫を行なって花粉症状があれば、これまでと同じ治療ができます。

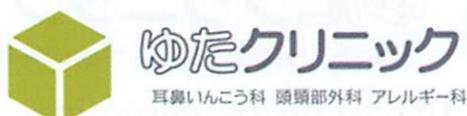
これまでの薬と異なり、完治例があり、全員ではないものの非常にくなるかたが多いのがこの治療の大きな特徴です。

舌下免疫療法をお考えのかたはどうすればよいか?

治療を始める前に採血などの検査が必要です。まず検査を行ない、治療を開始します。この治療はスギ・ヒノキ花粉の飛散期にあたる1月から5月には開始できません。6月から11月に来年のスギ花粉期のために治療を開始しましょう。治療費は、当院での診察費と薬局での薬剤費の合計で月額3000円前後となります(他の治療・薬・検査が無い場合)。治療前と治療後に年1回程度の採血検査が必要です。

なお、当院のホームページに舌下免疫療法の説明があります。治療をご希望のかたは当院のホームページもご覧ください。

治療開始時期は6~11月です。治療開始前には採血などの検査が必要です。



本紙はゆたクリニックで舌下免疫を考えている患者さんに治療前にお渡しする説明書です。  
ご参照される場合には使用者の責任下でお願いします。